

子どもたちのためにも ウソとごまかしの政治は許さない

こむら潤・近畿比例予定候補の訴えから

先に衆院比例近畿ブロックの予定候補として発表された、こむら潤・尼崎市議が19日に神戸市、尼崎市で行った訴え(要旨)を紹介します。



皆さんこんにちは。きたる総選挙で比例代表近畿ブロック、そして兵庫8区の予定候補となりました、こむら潤です。よろしくお願いします。私は現在、尼崎市議会議員の一期目、議員として二年半です。いま安倍政治を変えなければ私たちの暮らしはよくなる、という強い思いを抱いています。日本共産党は野党共闘を本気の共闘にし、野党連合政権を目指しています。そのために私も尼崎市議から国政に挑戦する一大決心をいたしました。



私は3人の子どもを育てる現役の母親です。上は19歳、3番目は小学校6年生なのですが、その子どもたちのためにも、いま安倍さんがやっているウソとごまかしの政治を許すわけにはいきません。

その最たるものは「桜を見る会」です。お金の使い方はあまりにも身勝手です。当初予算の3倍以上に膨らみ、お友だちをたくさん招待している。功績、功労があった方々より、安倍さんの後援会の人、自民党後援会の人の方が多くはないか、ということが明らかになってきました。この問題は日本共産党の「しんぶん赤旗」日曜版がスクープし、田村智子参議院議員が国会で追及し、そして野党全体で力を合わせて追及した。国会の会期延長はできなかったけれど、閉会中も「野党追及本部」が徹底的に追い詰めているところです。

この問題は決してあいまいにできません。税金を自分たちのお友達のため、選挙のために使っている疑いが濃い。決して逃げ切らせてはいけません。政治を私物化する安倍政治をこれ以上続けさせてはいけない、この声をしっかり上げていかなければならないと思います。

安倍さんは「桜を見る会」への疑惑に答えず、憲法改正に執念を燃やしております。強権的な政治を許さず憲法9条を守り抜く、そして命と暮らしをいかす当たり前の政治をつくるためにがんばっていきたいと思います。そのために日本共産党を大きくしてください。日本共産党は市民のみなさんと力をあわせて全力で頑張っていきたいと思います。

こむら(小村)潤さん 1975年8月15日生。44歳。尼崎市議。2013年入党。98年京都市立芸大美術学部デザイン科卒。兵庫県立高校などで美術非常勤講師、滋賀リビングカルチャーセンターでバリ舞踊講師。保育園父母の会会長、小学校PTA会長、中学校教育会会長など歴任。【趣味】バリ舞踊、和太鼓、インドネシア語【家族】夫、一男二女

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 36(2019.12.21)

こくた恵二、宮本たけし、清水ただし、こむら潤

総選挙
勝利

近畿比例予定候補が
揃って訴えます

27日(金)

P2:30 神戸三宮センター街
東口

P4:15 大阪天王寺ミオ前